

令和7年度 南クリーンセンター維持管理状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処分した廃棄物 (単位:トン)	可燃性ごみ	3487.94	3559.74	3771.72	2826.94	4070.78	2684.9	3499.13	3017.04	3343.34	2701.23	2935.6	3578.69
燃焼ガス温度 (炉内にて連続的に測定(800°C以上))	1号炉	944	912	927	-	911	945	965	939	937	938	973	964
	2号炉	903	909	937	934	954	937	976	961	952	937	913	896
集じん機に流入する燃焼ガス温度 (有害ガス除去装置入口にて連続的に測定(概ね200°C以下))	1号炉	179	179	179	-	182	182	182	181	179	181	182	182
	2号炉	183	183	182	183	185	184	182	182	182	183	185	183
排ガス中の一酸化炭素濃度 (誘引送風機入口にて連続的に測定(100ppm以下))	1号炉	22	22	24	-	20	23	22	17	22	7	19	23
	2号炉	19	18	16	15	14	12	18	12	12	8	12	12

※燃焼ガス温度・集じん機に流入する燃焼ガス温度・排ガス中の一酸化炭素濃度は連続記録計の月平均値を記載しています。
詳細データにつきましては、南クリーンセンターにおいて閲覧できます。

冷却設備、排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去を行った年月日	冷却設備 排ガス処理設備	1号炉	2号炉	3号炉
		R7.11.14~R7.11.25	R7.9.13~R7.9.22	
		〃	〃	

※冷却設備 : ボイラ設備の除じんはストブロフにより毎日実施
※排ガス処理設備 : ろ過式集じん機の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施

			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
排ガス中のばい煙量 又はばい煙濃度 (煙突測定孔にて測定) (測定回数:年6回)	1号炉	排ガスを採取した年月日	R7.4.28	R7.6.5	R7.9.8	R7.11.1	R8.1.5	R8.3.4
		測定結果の得られた年月日	R7.5.12	R7.6.16	R7.9.19	R7.11.12	R8.1.16	R8.3.11
		硫黄酸化物濃度(SOx) (K値)	0.09	0.13	0.01	0.02未満	0.06	0.04
		ばいじん濃度 (g/m3N)	0.0043	0.020	0.0028未満	0.0029未満	0.0027未満	0.0025未満
		塩化水素濃度(HCl) (mg/m3N)	4	33	4未満	6	9	6
		窒素酸化物濃度(NOx) (ppm)	48	61	48	59	30	48
	2号炉	排ガスを採取した年月日	R7.4.16	R7.6.23	R7.8.26	R7.11.27	R8.1.6	R8.3.12
		測定結果の得られた年月日	R7.4.23	R7.7.1	R7.9.3	R7.12.3	R8.1.16	R8.3.18
		硫黄酸化物濃度(SOx) (K値)	0.05	0.09	0.02	0.03	0.04	0.1
		ばいじん濃度 (g/m3N)	0.0031未満	0.012	0.0029未満	0.014	0.01	0.003未満
		塩化水素濃度(HCl) (mg/m3N)	16	11	4未満	11	11	38
		窒素酸化物濃度(NOx) (ppm)	52	62	38	64	69	88

ばい煙濃度の排出基準(大気汚染防止法)

硫黄酸化物濃度	K値規制 11.5以下
ばいじん濃度	0.08g/m3N以下
塩化水素濃度	700mg/m3N以下
窒素酸化物濃度	250ppm以下

K値:地域ごとに定める定数

排ガス中の ダイオキシン類濃度 (煙突測定孔にて測定) (測定回数:年1回)	1号炉	排ガスを採取した年月日	R7.5.9
		測定結果の得られた年月日	R7.6.2
		測定結果(ng-TEQ/m3N)	0.029
	2号炉	排ガスを採取した年月日	R7.5.9
		測定結果の得られた年月日	R7.6.2
		測定結果(ng-TEQ/m3N)	0.015

ダイオキシン類濃度の排出基準(ダイオキシン類対策特別措置法)

ダイオキシン類濃度	1ng-TEQ/m3N以下
-----------	---------------